

年間授業計画

東京都立東大和南高等学校 令和7年度 教科 国語 科目 言語文化

教 科 : 国語 科 目 : 言語文化 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者 : (1組: 小野) (2組: 依田) (3組: 小野) (4組: 小野) (5組: 依田) (6組: 小野) (7組: 依田)

使用教科書 : (探求 言語文化(桐原書店))

教科 国語 の目標 :

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 言語文化 の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：古文入門	教材：「児のそら寝」「検非違使忠明のこと」 ・古文を学習する意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。 ・古語と現代語の違いを理解する。 ・句読点に注意しながら、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・傍註と脚注を参考にしながら、本文の内容を正しく理解する。 ・児の心情を的確に読み取り、この話のおもしろさを理解する。 ・登場人物の関係性を把握する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品の内容や形式について、批評したり討論をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典等を用いて調べている。 ・現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。 ・この話のおもしろさについて、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。 ・脚注を参考にしながら、説話の内容を積極的に理解しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	単元：漢文入門	教材：「漢文を学習するということ」「漢文の基礎」「故事成語」 ・漢語の構造 ・訓読のしかた ・書き下し文 ・置き字 ・再読文字 ・返読文字 ・漢文特有の構造 ・疑問形	【知識・技能】 ・「漢文」とは何かを理解している。 ・日常生活で使う漢語について、その構造を理解している。 ・送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 ・書き下し文の決まりや置き字について理解している。 ・主な再読文字の読みと意味について理解している。 ・主な返読文字について理解している。 ・漢文特有の構造について理解している。 【思考・判断・表現】 ・書き下し文を参照しながら、漢文を正しく音読している。 ・訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 ・置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を現代語訳している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を聞き、書き下し文を参考にして、積極的に音読している。 ・日常使う漢語、格言、成句の意味やその由来を調べている。 ・返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。 ・本文中の語句の意味を調べている。 ・故事成語の意味と由来について積極的に調べている。	○	○	○	6
	単元：随筆	教材：「ある人、弓射ることを習ふに」など ・係り結び ・反語 ・助動詞 ・文学史的理解(随筆)	【知識・技能】 ・言葉のまとまりを的確に押さえて、全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・助動詞について、基本的な意味・用法を理解している。 ・係り結びや反語表現などの文法事項を理解している。 ・作者と作品について、文学史的知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・係り結びや反語表現などに現れている作者の思想や感情を、的確に読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典等を用いて調べている。 ・周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 ・古典に関する知識について関心を持って調べ、本文に表現された世界を深く理解しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	単元：物語 ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助詞や助動詞など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・歌語表現の概要について理解する。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・本文の展開や和歌の解釈に留意して内容を理解し、当時の社会のありさまや登場人物の心情を捉える。 ・登場人物の行動やその背景にある心情について、自分の考えを発表したり文章で表現したりできるようにする。	教材：「芥川」 ・歌物語	【知識・技能】 ・全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・助動詞、呼応の副詞などについて、基本的な文法事項を理解している。 ・歌語表現の概要を理解している。 ・歌物語における和歌の役割を理解している。 ・「伊勢物語」について、文学史的知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・登場人物の関係や物語の展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 ・作品についての考察を、的確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典等を用いて調べている。 ・周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 ・「伊勢物語」全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。 ・歌物語の系統を引く作品に関心を持ち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	7
	単元：史伝 ・音読を繰り返して長文の漢文に慣れる。 ・人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。 ・「臥薪嘗胆」という言葉の意味と由来を理解する。 ・史伝の舞台となる春秋時代の状況について理解を深め、史伝に描かれた古代中国の人々の生き方について考察する。	教材：「臥薪嘗胆」	【知識・技能】 ・漢文に特有の語や願望形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 ・「臥薪嘗胆」という言葉の意味と由来を理解している。 ・春秋時代の状況について概要を理解している。 【思考・判断・表現】 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・登場人物を呉側と越側に分けて整理している。 ・夫差が子胥に死を命じた事情・子胥の遺言の意味・夫差の心理の変化を捉えている。 ・夫差の「臥薪」の意図と勾践の「嘗胆」の意図を理解し、夫差が滅び、勾践が残った理由について自分の考えを述べている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・本文中の語句の意味を調べている。 ・本文中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 ・「呉越同舟」という言葉を手がかりにして、教材への関心を高めている。 ・周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	5
	定期考査						1
	単元：筆記 ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・係り結び、音便、歌語など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・生き生きと音読し、語り物としての作品の魅力を味わう。 ・筆記物語の表現上の特色を理解し、優れた表現に親む。 ・物語の内容を理解し、登場人物の行動や心情を読み取る。	教材：「木曾の最期」 ・音便 ・歌語 ・文学史的理解(筆記)	【知識・技能】 ・全文を正しく音読している。 ・重要古語の意味を理解している。 ・係り結びについて理解している。 ・音便について理解している。 ・歌語表現の種類や用法について理解している。 ・「平家物語」について、文学史的知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・文体の特徴を理解しながら、生き生きと音読している。 ・全体の構成や展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 ・登場人物の心情を話の展開に即して的確に読み取り、木曾義仲と巴の結びつき、義仲と今井四郎の結びつきとを、比較・対照しながら理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を古語辞典等を用いて調べている。 ・源平の合戦をめぐる時代状況について関心を持ち、調べている。 ・武士の装束、武器と戦のありさまなどについて関心を持ち、調べている。	○	○	○	8
	単元：詩文 ・漢詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。 ・漢詩の簡潔な表現に込められた内容や情感を理解する。 ・漢詩の表現形式について理解する。 ・杜甫、李白、王維など主要な詩人について、文学史的知識を持つ。 ・白居易の文学が日本の古典文学に与えた影響について理解する。	教材：「絶句」「早発白帝城」「送元二使安西」「八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九」など ・漢詩の表現形式(詩形・押韻・対句) ・文学史的知識(主要な詩人について)	【知識・技能】 ・絶句、律詩の形式を理解している。 ・各詩の詩形・押韻・対句などを正確に理解している。 ・漢文に特有な語や基本的な句形について、その読みと意味を理解している。 ・各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。 ・作者の生涯について文学史的な知識を持っている。 【思考・判断・表現】 ・漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。 ・脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。 ・各詩の内容や詠まれた心情を的確に理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・押韻・対句、語句の意味などを調べている。 ・詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 ・作者の生涯について調べ、詩の内容への理解を深めようとしている。 ・「瀧氏物語」など、「八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九」の詩句を引用した日本の文学作品について調べている。	○	○	○	6
	定期考査						1

3 学 期	単元：近代の小説 ・話の展開や主題の把握など、小説を読む基本的な方法を習得する。 ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・結末部分の改稿について考察し、表現上の効果の違いを捉える。 ・古文を正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・古典作品と近代以降の文章の関わりを理解し、古典作品の翻案について理解を深める。 ・「羅生門」と比較しながら読み、各作品の表現的特徴と主題を的確に読み取る。	教材：「羅生門」「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人のこと」 ・小説の読解、分析 ・比較読み	【知識・技能】 ・全文を正しく音読している。 ・老嫗に対する比喩表現など、特色ある表現の意味と効果を理解している。 ・芥川龍之介の他の作品を読むなどして、作者への理解を深めている。 ・歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。 ・古語辞典の使い方を理解している。 ・重要古語の意味を理解している ・「今昔物語集」など、日本の説話についての文学史的知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・冒頭部分から作品の舞台背景を的確に捉えている。 ・下人の境遇や人物像を把握している。 ・下人の心理と行動の変化を的確に読み取っている。 ・老嫗との会話によって下人の考えがどう変化したか理解している。 ・作品の主題について考察している。 ・結末部分について改稿前と改稿後を読み比べ、読後の印象の違いについて、自分の考えをまとめている。 ・脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 ・登場人物の行動や考え、作品に描かれている都の様子などを、的確に読み取っている。 ・本文と「羅生門」とを読み比べ、その設定や表現の相違点から各作品の主題を理解し、芥川龍之介の創作性について的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 ・芥川龍之介とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。 ・下人の生き方から、人間の生き方への認識を深めようとしている。 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・重要古語の意味を、古語辞典等を用いて調べている。 ・日本の古典作品をもとにした翻案作品に関心をもち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	8
	単元：思想 ・「論語」の一字一句に込められた意味を丁寧に読み取る。 ・「学問と自省」「人生と政治」という観点から、儒家思想の概略を理解する。 ・孔子のものの見方や考え方を学んで理解し、自分の考えを深める。	教材：「論語」 ・句形、構文 ・文学史的知識(孔子、論語)	【知識・技能】 ・漢文に特有の語や疑問形・詠嘆形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 ・孔子が理想とした「学問」や「政治」のあり方について理解している。 ・諸子百家が登場した時代背景について理解している。 ・孔子と「論語」について、基本的な知識を持っている。 【思考・判断・表現】 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。 ・指示語の対象や語句の対応関係に注意して、内容を的確に捉えている。 ・前半の五章から、「学問と自省」に対する孔子の考え方を的確に捉えている。 ・後半の六章から、「人生と政治」に対する孔子の考え方を的確に捉えている。 ・各章の内容を踏まえ、孔子の理想としていた学問のあり方について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・本文中の語句について調べている。 ・諸子百家が登場した春秋・戦国時代の歴史に関心をもち、調べている。 ・孔子の人物像や「論語」の内容・構成について関心をもち、調べている。 ・孔子の理想とする学問のあり方について、積極的に話し合いながら考えを深めている。	○	○	○	4
	単元：思想 ・「孟子」の一字一句に込められた意味を丁寧に読み取る。 ・孟子のものの見方や考え方を学んで理解し、自分の考えを深める。	教材：「孟子」 ・句形、構文 ・文学史的知識(孟子)	【知識・技能】 ・漢文に特有の語や疑問形・詠嘆形などの基本的な句形について、その読みと意味を理解している。また、漢文に特有の構文について理解している。 ・孟子が理想とした「学問」や「政治」のあり方について理解している。 ・孟子の「孟子」について、故事成語「五十歩百歩」の由来になっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 ・脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。 ・指示語の対象や語句の対応関係、比喩表現に注意して、内容を的確に捉えている。 ・「学問」に対する孟子の考え方を的確に捉えている。 ・各章の内容を踏まえ、孟子の理想としていた学問のあり方について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・範読を参考にして、積極的に音読している。 ・本文中の語句について調べている。 ・孟子の人物像や「孟子」の内容・構成について関心をもち、調べている。 ・孟子の理想とする学問のあり方について、積極的に話し合いながら考えを深めている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							70